

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

小学校・第3学年

体育科

単元名 「B 器械運動 ア マット運動」

① 体育科・保健体育科の本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

どうすれば誰もが運動やスポーツの楽しさや喜びを味わうことができるだろう。

② 領域の本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

器械運動の特性は何だろう。

③ 単元を貫く問い（単元を通して考え深めていく「問い」）

どうすれば誰もがマット運動の楽しさや喜びを味わうことができるだろう。

④ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・どのような技があるのだろう。・その技のポイントは何だろう・その技の魅力は何だろう。
- ・自分の技の課題は何だろう。
- ・自己の課題に応じた練習をするためには、どのように工夫された場所で練習するとよいだろう。
- ・安心、安全なマット運動にするために大切なことは何だろう。
- ・今日の成果と次に取り組みたいことは何だろう。

単元計画の
構想を立てる

- 1 これまでのマットを使った運動遊びを振り返り、楽しさや不安等について整理するとともに、単元の最後に行う交流会の内容を知る。
- 2 色々な基本的な技、発展技を経験し、自分の取り組みたい技を選択する。
- 3 同じ系統の技を選択した児童で集まり、課題の解決に向け協働的に練習に取り組む。（「みる・支える・知る」の視点を児童に意識させて取り組ませる。）
- 4 練習の過程をタブレットで撮影しておき、それをういて感じた技の魅力や自己の変容を交流するとともに、自分が考えるマット運動の楽しさをまとめる。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

小学校・第4学年

体育科

単元（小単元）名 G 保健（2）体の発育・発達（1）思春期の体の変化

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

生涯にわたって健康を保持増進するためには、どうすればいいのだろう。

② 単元を貫く問い（単元を通して考え深めていく「問い」）

思春期の体の変化に対応し、健康を保持増進するためには、どうすればいいのだろうか。

③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 思春期には、体にどんな変化が起こるのだろうか。
- ・ 思春期には、心にどんな変化が起こるのだろうか。
- ・ 思春期に自分の心身をよりよく発育・発達させるためにはどうすればいいのだろうか。
- ・ 思春期の体の変化にどのように対応すれば健康の保持増進につながるのだろうか。

単元計画の
構想を立てる

- 1 思春期には、人によって違いがあるものの、体つきに変化が起こることを理解する。
- 2 思春期には、個人差があるものの、大人の体に近づく現象、異性への関心も芽生えることを理解する。
- 3 <パフォーマンス課題>「思春期の私へ」の手紙を書き、思春期の体の変化を肯定的に受け止め、楽しく明るい生活を営むことができる資質能力を養う。